

# 房総 だより

(農)房総食料センター

千葉県山武郡横芝光町上原 368-1

<http://www.boso.or.jp/>

☆産地情報をお知らせします。

発行：2020年6月5日

## 野良仕事

## さつま芋の植え付けを体験

6月2日、曇り空の少し汗ばむ気温の中、地元横芝光町の幼稚園で、さつま芋生産者の宇井正志さんと自分も含む房総食料センター職員数名で、さつま芋の苗の植え付けをしました。毎年、青年部が行っていますが、新型コロナウイルスの拡大防止のため行事は中止になり、秋の収穫に向けて職員で対応しました。

園児達が苗を植え付けるはずだった畑には、ビニールを張った畝（うね）が5列並んでいました。初めて苗の植え付けをやってみて、やり方を教えてもらいながらも、最初は苦戦しました。植え方は『船底植え』と言い、さつま芋の苗（摘んだツル）を、穴を開けた畝に斜めに差し込んでいきます。斜めにすることで、芋の数が多くなり、サイズもそろいややすくなります。しかし、実際の生産圃場では1時間に700本をひとりで植え付けるので、手のかかる船底植えをしている人は少ないそうです。コツを掴んでからはスムーズに植えられるようになり、楽しかったです。もう少し植えたかった。宇井正志さんはさすがベテラン！植え付けが早くて、5列の内2列をいつの間にか終わらせていてびっくりでした。

庭で遊んでいた園児達は大きな声でいさつして、手を振ってくれました。「秋にはたくさんのさつま芋を収穫できるといいね。」と思いました。

（職員 S・H）

さつま芋の植え付け時期は4月下旬から始まり5月いっぱいではほぼ終わります。

さつま芋を並べた苗床から伸びてきたツルを切って苗にします。どのくらい土にツルを差し込むのかがポイントです。

